

## 平成 25 年度 予算概要の説明

予算は「資金収支予算書」及び「消費収支予算書」の2種類により報告する。

「資金収支予算書」は、平成 25 年度に発生するすべての収入と支出の予算額を、補正予算と当初予算を対比して記載した。

「消費収支予算書」は、平成 25 年度に発生する消費収入と消費支出の予算額を、補正予算と当初予算を対比して記載するもので、学校法人大正大学の経営状態を明らかにする計算書類となる。

### 1. 資金収入の部

i) 学生生徒等納付金収入は 44 億 7,878 万 5,400 円、前年度比 2 億 1,263 万 3,400 円増。  
主な理由は、入学定員増（平成 24 年度に表現文化学科 70 名・臨床心理学科 25 名・歴史学科 25 名、平成 25 年度に人文学科 40 名の合計 160 名）による新入生学納金を増額。及び平成 22 年度から実施した学費改訂に伴う増額（平成 25 年度で終了）。

ii) 手数料収入は 1 億 5,021 万円、前年度比 38 万 7,000 円増。  
大学入試センター試験手数料収入を実数ベースで計上したことによる増額。

iii) 寄付金収入 6 億 8,753 万円、前年度比 3 億 2,929 万円減。  
90 周年記念事業勧募の累計がほぼ 9 億円に達し、平成 25 年度の目標額を 3 億円と平成 24 年度比 2 億円の減としたこと、及び、鴨台会（同窓会）からの寄託分が終了したことによる前年度比減額。

主な寄付金の内訳は以下の通り

宗団（設立宗団 4 宗×5,000 万円）	2 億円
ティー・マップ（経常的経費に対する寄付金）	1 億円
新入生父母（教育振興充実寄付金）	2,000 万円
大正大学ボランティアプロジェクト（鴨台会）	500 万円
東日本大震災被災学生支援（鴨台会 1 千万円、父母会 450 万円）	1,450 万円
父母会（父母会支給の奨学金他）より	1,530 万円
課外活動充実寄付金	1,000 万円
時宗からの経常的経費に対する寄付金	600 万円
浄土宗子弟教育支援寄付金	500 万円
90 周年記念勧募事業	3 億円

iv) 補助金収入 5 億 5,120 万円は、前年度比 1,436 万 2,000 円増。

主な補助金は以下の通り

経常費補助金	5 億 5,000 円
地方公共団体補助金（東京都、豊島区）	120 万円

- v) 資産運用収入 3,439 万 1,458 円で前年度比 251 万 6,499 円減。  
運用社債の利率低下の影響により受取利息収入が減少。
- vi) 事業収入 468 万 1,000 円は、前年度比 111 万 8,000 円減。  
教員免許更新講習事業を取りやめたことに伴い減少。  
主な事業収入は以下の通り
- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 出版会                      | 130 万円        |
| その他の事業収入 (ティー・マップ光熱水費負担) | 253 万 1,000 円 |
- vii) 雑収入 6,569 万 9,000 円は、前年度比 4,684 万 2,000 円減。  
退職対象者減に伴い退職金財団交付金が 4,460 万 9,000 円減となるのが主な理由。  
主な雑収入は以下の通り
- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 退職金財団交付金   | 5,482 万 9,000 円 |
| 科研費間接経費    | 567 万円          |
| カウンセリング面接料 | 480 万円          |
- viii) 前受金収入 11 億 3,200 万円は、前年度と同額。
- ix) その他の収入 11 億 9,321 万 6,262 円は、前年度比 1 億 9,111 万 8,119 円減  
この収入は、退職金、建築費、或いは社債満期元金償還金等を各引当特定預金・  
資産からの振替繰入を行うものであり、学校の諸活動による実収入ではない。
- x) 資金収入調整勘定は、今期の未収入金及び前期に受け入れた金額 (前受金) の本  
年度において資金の受入が無い資金の控除調整科目である。
- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 期末未収入金は                  | 1 億 2,000 万円  |
| 前期末前受金は前年度予算の前受金収入予算と同額の | 11 億 3,200 万円 |
- xi) 前年度繰越支払資金は、前年度予算の次年度繰越支払資金と同額の 10 億 3,238 万 9,808  
円

以上、収入の部合計は 80 億 7,810 万 2,928 円となり、前年度比 18 億 2,040 万 8,476 円減となった。

## 2. 資金支出の概要

平成 25 年度予算の申請に際しては、TSR マネジメント研修会で培ってきた経験を活かした予算申請を行った。未だ、試行中の部分があり、今後も実務のなかで検討を進めていく必要があるが、すべての部署が、大学のビジョンを達成するための部局のビジョンは何か、部局のビジョンを達成するための戦略は何か、戦略を達成するための業務は何か、業務を成功に導くためのアクションプランは何か、の縦軸を意識して予算編成を行った。

また、予算金額について、経常的な予算であっても積算根拠を精査することを求めた。そのため、予測値を多く見積もった計上が大分少なくなり、結果として、前年度予算から減少したものが多くなった。

以下、各費目について主な理由を示す。

i) 人件費支出 27 億 7,279 万 9,540 円は、前年度比 1 億 1,012 万 5,180 円の増。

教員人件費は前年度比 9,192 万 4,000 円の増額。

入学定員増 (860 名→1,020 名) に伴って必要な補充を行っていることが主な理由である。

なお、年度末手当 (定額) を廃止し、期末手当に加算し調整を行う。

職員人件費は前年度比 7,258 万 5,730 円の増額。

平成 25 年度新規採用者 5 名及び出向社員を直接雇用することが主な理由である。

なお、教員人件費と同様に年度末手当 (定額) を廃止し、期末手当に加算し調整を行う。

退職金支出は、平成 25 年度退職予定者 (教員 10 名) で計上。

ii) 教育研究経費 12 億 3,746 万 6,024 円は、前年度比 296 万 7,484 円減とほぼ同額。

前年度予算との増減が 500 万円を超えるものについて主な理由は以下のとおり。

### 【500 万円以上増額】

◎光熱水費	1,152 万円増額	
・新 5 号館及び新 11 号館分の光熱水費を増額。		
◎旅費交通費	525 万 9,660 円増額	
・南三陸エリアキャンパス開設に伴う、教職員の出張旅費		390 万円
・BSR (仏教者の社会的責任) 研究所に伴う出張旅費		50 万円
◎奨学費支出	1,016 万円増額	
・体育系課外活動団体特別待遇奨学金		495 万円
◎学生諸費支出	1,687 万 6,630 円増額	
・南三陸エリアキャンパス活用補助		2,000 万円
◎研究費支出	1,176 万 4,409 円増額	
・教員増による個人研究費増額分		495 万円
・TSR マネジメント研究所研究費		500 万円
・カウンセリング研究所創立 50 周年記念事業		76 万円

◎実験実習費支出	1,471万4,909円増額	
・ 社会福祉実習委託を手数料支出から科目変更		400万円
・ のびのびこどもフィールドワーク実習を手数料支出から科目変更		232万円
・ エンターテインメントビジネスコースセルフ・マーケティング授業		208万円
・ 海外語学研修		511万円

【500万円以上減額】

◎賃借料支出	1,155万3,478円減額	
リース契約期間満了に伴い再リースに移行したことに伴う減額が主な理由。		
・ コピー・パソコン		435万円
・ 学務システム		560万円
◎委託費支出	6,870万4,930円減額	
・ キャンパス整備計画分（旧5号館解体工事等）		6,178万円
・ キャリアデザインゼミ委託取り止め		500万円
・ TAP講座と就職講座の一部統合		1,000万円

- iii) 管理経費6億3,832万8,285円は、前年度比1,982万7,811円減。  
前年度予算との増減が500万円を超えるものについて主な理由は以下のとおり。

【500万円以上増額】

◎消耗品費支出	532万6,244円増額	
・ 5号館鴨台食堂食器等購入分		600万円

【500万円以上減額】

◎渉外費支出	1,340万6,331円減額	
・ 90周年勧募寄付者への記念品購入済		1,794万2,400円

- iv) 借入金等利息支出750万4,106円は新5号館建設に伴う借入金にかかる利息分。  
v) 借入金等返済支出2億円は、新5号館建設に伴う借入金の年間返済金額。  
vi) 施設関係支出8億3,705万4,800円は、前年度比14億4,804万9,469円減額。  
平成25年度施設関係はキャンパス整備や1・2号館の改修にかかる費用となる。主な建築計画は以下の通り
- |              |                |
|--------------|----------------|
| 5号館関連        | 1億9,216万8,000円 |
| 11号館すかも鴨台観音堂 | 1億8,411万9,000円 |
| 1・2号館改修      | 2億5,964万3,000円 |
| ランドスケープ      | 1億8,512万6,000円 |
- vii) 設備関係支出9,851万5,746円は、前年度比4,687万2,784円減額。  
その理由は、現在キャンパス整備計画を実施していることから、各部局に一時的な支出削減の理解と協力を求めた結果である。

viii) 資産運用支出 8 億 8,989 万 9,605 円は、前年度比 5,380 万 1,098 円増額。

この支出は、退職金、建築費、或いは社債満期元金償還金等を各引当特定預金・資産からの振替支出を行うものであり、学校の諸活動による実支出ではない。

なお、第 3 号基本金引当資産については毎年 2,000 万円の積み上げを行っている。

その他の支出・予備費・資金支出調整勘定等の調整科目を加減した結果、次年度繰越支払資金は、12 億 5,523 万 4,822 円となり、前年度比 2 億 2,284 万 5,014 円増となる。

以上、支出の部合計は収入の部合計と同額の 80 億 7,810 万 2,928 円となり、前年度比 18 億 2,040 万 8,476 円減となった。

### 3. 消費収入の概要

帰属収入は、学校の負債とならない収入であり、資金収入の学生生徒等納付金から雑収入までを指し、金額も同額となる。

各科目の帰属収入に対する割合は、次の通り。( ) 内は全国平均<sup>⑨</sup>

(<sup>⑨</sup>全国平均は、日本私立学校振興・共済事業団 平成 24 年度版 今日の私学財政大学・短期大学編 5 ヶ年連続消費収支計算書 (医歯系大学を除く))

学生生徒等納付金	75.0% (78.3%)
手数料	2.5% ( 2.8%)
寄付金	11.5% ( 1.9%)
補助金	9.2% ( 8.9%)
資産運用収入	0.6% ( 1.6%)
事業収入	0.1% ( 1.8%)
雑収入	1.1% ( 2.6%)

帰属収入の部合計は、59 億 7,249 万 6,858 円 (前年度比 1 億 5,238 万 4,099 円減)。

基本金組入額は 9 億 4,557 万 546 円のため、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の部合計は、50 億 2,692 万 6,312 円となる。

### 4. 消費支出の概要

消費支出の部合計は、54 億 1,390 万 7,677 円 (前年度比 4 億 4,186 万 5,109 円減)。

各科目の帰属収入に対する割合は、次の通り。( ) 内は全国平均。

人件費	46.2% (50.3%)
教育研究経費	31.3% (32.7%)
管理経費	12.0% ( 7.0%)

人件費比率は帰属収支比率 50%を割っている。これは 90 周年記念事業勧募の寄付金及びティー・マップ寄付金の割合が比較的多いことが要因としてあげられる。なお、本学は図書館を中心に人材派遣 (業務委託) を行い人件費の削減に努めていることも人件費比率が低いこ

との要因としてあげられる。これらの要因を加味すると、人件費比率は50.8%となり全国平均と同程度となる。

5. 消費収支差額

消費収入50億2,692万6,312円、消費支出54億1,390万7,677円であり、3億8,698万1,365円の消費支出超過となった。

6. 帰属収支差額

企業会計における損益計算書の経常損益に相当するもので、帰属収入—消費支出により算出される。

帰属収入59億7,249万6,858円—消費支出54億1,390万7,677円=5億5,858万9,181円の黒字となる。

7. 資金支出を伴わない支出

消費支出には資金を伴わない支出として「減価償却額」と「資産処分差額」がある。

平成25年度は減価償却額7億1,000万円、資産処分差額1,000万円となり、合計7億2,000万円が資金支出を伴わない支出となる。

すなわち。平成25年度当初予算における資金余剰額は、  
帰属収支差額5億5,858万9,181円+減価償却額7億1,000万円+資産処分差額1,000万円=12億7,858万9,181円となる。

以 上